

教育活動等に対する学校評価書
(令和4年度)

[学校の教育目標]

校訓 明るく元気に即戦力宣言

- 教育目標
1. 学生一人一人に目を向けた教育に努める
 2. 即戦力を身につけた、美容業界を担う人材を育成する
 3. 国家試験合格率、就職率の向上
 4. 仕事から喜びを伝えることができ、社会から必要とされる人間を育成する
 5. 最先端の技術、マナーを身につけ、お客様から愛され活躍できるプロを育成する

- 評価基準
- 適切.....4
 - ほぼ適切...3
 - やや不適切・2
 - 不適切.....1

学校法人掛川学園
静岡アルス美容専門学校

1. 教育理念・目標

| 評価項目 | 適切...4 | ほぼ適切...3 | やや不適切...2 | 不適切...1 |
|---|--------|----------|-----------|---------|
| 学校の教育理念並びに教育目標、人材育成像は明確に定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか。) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学校における職業教育の特色は何か。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来像を抱いているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 学校の教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構造などが学生・保護者等に周知されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 教育目標、育成人材像は学生等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |

[現状の問題点]

入学前にガイダンス等で保護者、学生への学校の特色説明の機会を設けているが、周知徹底には至っていない。具体的周知方法が明確でない。

パンフレットやHP、SNSの標記で学校の特徴を表現できていない点がみられる

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|---------|--|
| 教育理念・目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞くと学校理念、目標を明確にしていることは評価できるが、広告の掲載内容については内容に曖昧な標記がみられる。 ・国家試験合格、就職率の実績は高い評価ができる。 ・専門学校としての基盤を評価するため、業界の情報を把握し事業計画に組入れることを引き続き実施することを提案し実施計画を立てる。 ・学校の特色を周知させる方法を検討、各企業の連携を強化していくことを再確認。 ・今後も、高レベル(即戦力)な人材育成に努めてほしい、少子化、美容業界の動向にも留意、学校に求められるもの、必要とされる人材の育成に努め対応してほしい。 |

[改善のための方策]

入学ガイダンス、入学式等で資料配布はしているが、説明を複数回行い、明確に認識して頂く。HPやパンフレット等の閲覧者に対して学校の特色がはっきり伝わるよう標記していく。

2. 学校運営

| 評価項目 | 適切...4 | ほぼ適切...3 | やや不適切...2 | 不適切...1 |
|---------------------------------------|--------|----------|-----------|---------|
| 目的等に沿った運営方針が策定されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 人事・給与に関する規定等は整備されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 教務・財務等の組織整備など意思決定システムが整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 業界や地域社会等に対する規則及び論理・道徳を遵守する体制が整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |

[現状の問題点]

諸規定は定期的な見直しをし、充実されていく必要がある。
財務情報の公開体制の整備。

教職員が各々の業務を効率よく実施し、共有していく必要がある。

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|------|--|
| 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員と評議委員、理事との運営に関する意見交換を日常の業務の中で行い、校長をはじめとする学校運営の中核を担う者により、学校運営方針の徹底がなされている。 ・運営方針を反映した事業計画は毎年度作成されていることは評価。 ・生徒募集の工夫、着実な定員が必要、学校資料の見直し、資料作成のプロへの依頼が必要との意見。 ・ニーズの変化に敏速に対応できる体制づくりが必要との意見。 ・事業所との連携強化をし、事業所等で学校をPRしてもらい、生徒募集につなげる。 |

〔改善のための方策〕

教職員の勉強会を開催し、美容師育成の能力を向上を行う。

教職員が学校の運営管理に関心を持ち意見交換のできる組織作りを日常的に行う。

ホームページで学校の特徴の伝え方を資料作成のプロに依頼し、学生募集へつなげる。

3.教育活動

| 評価項目 | 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 |
|---|--------------------------------------|
| 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等を策定されているか。 | (4) 3 2 1 |
| 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえて修業年限での教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | (4) 3 2 1 |
| カリキュラムは教育目標が反映されているか。 | (4) 3 2 1 |
| キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の開発などが定期的に実施されているか。 | (4) 3 2 1 |
| 関連企業や関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直しがなされているか。 | 4 (3) 2 1 |
| テキストや教材は適切なものを選定しているか。 | 4 (3) 2 1 |
| シラバスが作成され教員と学生に把握されているか。 | 4 (3) 2 1 |
| 実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか。 | (4) 3 2 1 |
| 授業の点検・評価が適切に実施されているか。 | (4) 3 2 1 |
| 成績不振の者への指導についての指導はどうか。 | (4) 3 2 1 |
| 国家試験不合格者の対策をしているか。 | (4) 3 2 1 |
| 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。 | (4) 3 2 1 |
| 目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか。 | (4) 3 2 1 |
| 進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか。 | (4) 3 2 1 |
| 人材育成目標の達成に向け、指導のできる要件を備えた教員を確保しているか。 | 4 (3) 2 1 |
| 職員の為の能力開発の研修等が行われているか。 | 4 (3) 2 1 |

〔現状の問題点〕

職員への教育、研修の実施を通して、スキルアップや資格取得を図っていく必要がある。

実践的な授業を通し、学生の全体的な先進技術取得の工夫を授業の中で実施していく必要がある。

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|------|--|
| 教育活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの内容については高い評価ができる。卒業後を見据えた教育が、学生自身で体現できているかを授業を保護者、各企業に見学させてもらい確認できるようにしたい。 ・関連企業との意見交換によりカリキュラムの見直し、教材の見直しがなされている。 ・シラバスの学生への説明は時間が費やされていた。 ・進級・卒業の判定は適切に実施していることを記録等で確認できる。 ・教員の為の能力開発や研修を実施し、講師の指導力のレベルアップすることにより学生のレベルもアップするので、教員研修の継続を依頼。 |

〔改善のための方策〕

第三者視点で各企業や保護者等に授業評価を導入し、日々の授業見学、公開授業の実施をしていくなど、指導力向上のための工夫をし改善していくことが必要。

教員間で指導法の共有を行い、その差異をなくし育成能力を高める。

4.学習成果

| 評価項目 | 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 |
|----------------------------|--------------------------------------|
| 就職率の向上が図られているか。 | (4) 3 2 1 |
| 資格取得率の向上が図られているか。 | (4) 3 2 1 |
| 退学率の低減が図られているか。 | (4) 3 2 1 |
| 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか。 | (4) 3 2 1 |

| | | | | |
|--|-----|---|---|---|
| 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
|--|-----|---|---|---|

〔現状の問題点〕

就職後のフォローをし、離職防止や転職等への取組が必要

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|------|--|
| 学習成果 | <ul style="list-style-type: none"> 希望者についての就職率は100%、しかし美容業界に就職しない者がいる。美容の魅力を企業の協力で伝えることで解決できないか、よいことばかり話しても就職後のギャップで離職も考えられる。自信がつくまでの間、実習を試みる必要があるとの提案。企業の協力で在学中に実務実習を実施するメリットは大きいと研修サロンの選定をするようにと意見が出された。 OB会を組織して卒業生が社会で活躍し評価されているか把握することを提案。 マナーの授業を強化し、卒業後困らないようにする必要がある。 事業所との連携を教科し、実務実習、接客の専門家による授業を試みることを提案。 学生相談の機会を増やし就職を意識させる。 業界関係者に理解を求め美容室でのアルバイトから就職につなげることができるよう事業所との連携を取りたい。 卒業後の仕事に有利になる為、美容所でのアルバイトを推奨する。 保護者との連携により教育の理解を得ているが、保護者会だけで理解が得られない場合は個別で話す時間を設けている。さらに三者面談の実施をすると良いとの意見。 |

〔改善のための方策〕

美容室以外の関連業種(ブライダル・ネイル・福祉美容・マツエク等)求人を開拓し、学生のニーズにあった就職先を提案できるよう準備する。

5.学生支援

| 評価項目 | 適切・・・4 | ほぼ適切・・・3 | やや不適切・・・2 | 不適切・・・1 |
|--------------------------------|--------|----------|-----------|---------|
| 奨学金等、経済的なことの相談に応じる体制ができているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 各学校行事について、適切な事後反省を行っているか。 | 4 | (3) | 2 | 1 |
| 学生の健康管理を担う体制があるか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 保護者と適切に連携しているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 | 4 | (3) | 2 | 1 |
| 卒業生への支援体制があるか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

個別に向き合ってゆっくり話す時間が少ない。

学生に支障はないが、経済的理由で他業種でアルバイトに時間を費やす学生が見受けられる。

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|------|--|
| 学生支援 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者との個別面談の機会を定期的に作り、経済的な案件を話しやすい環境をつくとよい 学校行事での、反省と改善を行事の実施後に行うことを提案 卒業生との積極的な交流の場を設け、再就職などよりよい社会生活を行う為の支援をするとよい |

〔改善のための方策〕

学生の生活状況や進路相談等、プライバシーが守られる前提での情報共有と、適切な学生支援体制の整備をしていく。保護者へ公開授業や懇親会等で、学生の様子を伝えるような企画を実施する。

6.教育環境

| 評価項目 | 適切・・・4 | ほぼ適切・・・3 | やや不適切・・・2 | 不適切・・・1 |
|--------------------------------|--------|----------|-----------|---------|
| 実習設備は整備されているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 実習室は実習を行うので十分な面積を有しているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 防災に対する体制は整備されているか。 | 4 | (3) | 2 | 1 |
| 防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 | 4 | (3) | 2 | 1 |
| 教室・実習室の管理は適切に行われているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 学生が自習できる環境が整っているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 図書室は適切に整備されているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 保健室は適切に整備されているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 教育用機器備品は整備されており活用されているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 教員、事務室の管理は適切に行われているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

施設設備において、地震等に十分な安全確保が取られていない。

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|------|--|
| 教育環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・設備についてシャンプー台を導入したらとの意見があり予算組を検討。 ・実践トレーニングができるコーナーを作り、就職に備える環境を提案。 ・防災安全管理を定期的に確認、飲料水等を確保、連絡網のチェック、防災に関する事項を保護者にも理解していただき家族間のルールをつくる提案は評価できる。 ・落下防止の工事とヘルメットの設置を指示、早急に教職員で実施することを提案。 ・美容サロンの実務研修、卒業後を見据え実務を経験させることを提案。 ・災害時を想定し帰宅困難者等の避難職等、計画的に備蓄を整備する必要があるとの意見。 ・防犯カメラを設置し、外部からの侵入等から安全が確保されたことに評価された。 |

〔改善のための方策〕

避難訓練を実施し、ロッカー等の転倒防止策を講じる。
 避難経路を確認し、荷物の保管方法を工夫する。

7.学生募集

| 評価項目 | 適切・・・4 | ほぼ適切・・・3 | やや不適切・・・2 | 不適切・・・1 |
|-------------------------------------|--------|----------|-----------|---------|
| 学生募集の為の広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か。 | 4 | 3 | (2) | 1 |
| 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 | 4 | 3 | (2) | 1 |
| 募集要項の内容は適切か。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か。 | 4 | 3 | (2) | 1 |
| 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。 | 4 | (3) | 2 | 1 |
| 中途退学の理由を把握しているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

授業料、教材費等の他校との比較がわかりにくい
 学校案内の内容が、具体的ではない
 損益分岐点である入学生の確保が毎年困難である。

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|------|---|
| 学生募集 | <ul style="list-style-type: none"> ・募集要項の記載内容は適切なものになっている。美容室との連携による組織づくりの必要さを提案。 ・体験入学の内容も含め綿密な広報計画を立てる。 ・ホームページについても、より具体的な表現を求めたい。 ・募集活動上、教育成果を正確に伝えることができているのか、最大限に伝える方法を研究することを提案。 |

〔改善のための方策〕

学生募集における費用対効果の分析を行い、より効率的な学生募集を実施していく。
 経済的理由を抱える学生や入学希望者への支援体制を充実させる。

8.財務

| 評価項目 | 適切・・・4 | ほぼ適切・・・3 | やや不適切・・・2 | 不適切・・・1 |
|--------------------------|--------|----------|-----------|---------|
| 長中期的な学校の財務基盤は安定しているか。 | 4 | 3 | (2) | 1 |
| 予算収支計算は有効かつ妥当なものになっているか。 | 4 | 3 | (2) | 1 |
| 財務について会計監査が適正に行われているか。 | 4 | (3) | 2 | 1 |
| 財務情報の公開、体制整備はできているか。 | 4 | (3) | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

定員確保と適正な経費率の算出(人件費等)。

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|----|--|
| 財務 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来学生の数の減少も予測され、経費の削減に努め財政基盤の安定に努めること。 ・規定に基づいての財務情報を評価。 ・学生募集について、ガイダンス、媒体等、常に費用対効果を念頭に置いたうえで、経済の有効的な資料を考えることを確認。 |

〔改善のための方策〕

部門ごとの予算作成、執行状況の確認と情報共有をはかる。
 長期的目標、予算の作成。

9.法令等の遵守

| 評価項目 | 適切・・・4 | ほぼ適切・・・3 | やや不適切・・・2 | 不適切・・・1 |
|-------------------------------|--------|----------|-----------|---------|
| 法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。 | 4 | (3) | 2 | 1 |

| | | | | |
|-----------------------------|-----|-----|---|---|
| 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。 | 4 | (3) | 2 | 1 |
| 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |
| 自己評価結果を公開しているか。 | (4) | 3 | 2 | 1 |

〔現状の問題点〕

在校生だけでなく、高校生の個人情報を多く抱えているため、より徹底した管理を検討する必要がある。
自己評価の定期的実施と結果の早期公開が必要である。

| 項目 | 学校関係者の評価 |
|--------|--|
| 法令等の遵守 | <ul style="list-style-type: none"> ・専修学校設置基準、及び美容師養成施設指定規定等、関係法令を遵守運営されている。 ・個人情報の取り扱いを厳重に管理、対策をとっている。 ・自己評価、学校関係者評価委員会の評価をホームページに速やかに公開する。 |

〔改善のための方策〕

個人情報の取り扱いについて再確認のため教職員の学習会を開催する。
個人情報保護のための「使用に関する同意書」作成する。

られる。